

KOWA振動ふるい機部品交換時期及び判断基準一覧表

様式番号:Q850206

・振動ふるい機の各部品における推奨交換時期及び点検項目・判断基準を記します。

第5版:2021年8月6日

(株)興和工業所 開発機械部
アフターメンテナンス係

●通常稼働交換推奨部品

確 認 部 品	交換推奨時期	点 檢 項 目	判 断 基 準
振動体	2年	異常音がないか・異常発熱が無いか・モーターの電流値が高くないか・手で回して重くないか	電流:定格値以上× 回して重い× 異常音×
駆動スプリング	2年	拡がっていないか・亀裂が入っていないか・腐食していないか・摩耗していないか・破損していないか	摩耗× 破損× 腐食× 拡がり×
固定金具	2年	金具が変形していないか・摩耗していないか	変形× 摩耗×
V車	2年	ガタツキが無いか・異常音がないか・異常振動していないか・摩耗していないか・手で回して重くないか	ガタツキ× 回して重い× 異常音×
Vベルト	2年	亀裂が無いか・摩耗していないか・伸びていないか・破断していないか	亀裂× 破断×
スプリング受	2年	手で棒スプリングが回らないか・摩耗していないか・変色(レタン)していないか・割れが無いかの	摩耗(赤錆・摩耗紛)× 棒スプリング回転×割れ×
杵スプリング	2年	手で回して回らないか・目視にてコーティングの剥離が無いか・破断部分が無いか・摩耗していないか	破断× 手で回る× 摩耗(赤錆)×
パッキン	2年	パッキンが劣化していないか(亀裂・変色・硬化)・破断していないか・欠けがないか	破断× 亀裂× 硬化×
グリースコネクター	2年	外れていないか・腐食していないか・ネジ山が潰れていないか	ネジ潰れ× 外れ× 腐食×
グリースホース	2年	亀裂がないか・硬くなっているか・破断していないか・グリースが中で固まっているか	硬化× 破断× 亀裂×
モーター	3年	電流値に異常がないか・異音はしていないか・ガタツキがないか	異音× 异臭× 電流:定格値以上×
Vブーリー	3年	亀裂がないか・摩耗していないか・腐食していないか・欠けがないか	亀裂× 摩耗× 腐食× 欠け×
防振ゴム	3年	亀裂がないか・硬くなっているか・摩耗していないか・ガタツキがないか	亀裂× 硬化× 摩耗×

*1:消耗部品の交換推奨時期としては、8Hr/Dayを基準とします。(時間目安:1年間1920Hr・2年間3840Hr・3年間5760Hr (1カ月20日で計算))

*2:交換推奨時期については、使用環境・使用状態・原料・負荷・設置状況によって変化する可能性がありますので、点検項目を参考に日常点検をしてください。

*3:グリースの給油・ネジ部増締めを行っていない物に関しては、上記推奨時期より早くなる可能性が高くなります。(グリースの給油に関しては、500Hrごとに機種で決められた量の給油を行ってください。)

●点検時交換推奨部品

確 認 部 品	交換推奨時期	点 檢 項 目	判 断 基 準
タッピングボール	点検時判断	破損していないか・大きさは問題ないか・変色・膨張していないかの確認	破損× 大きさ20%減少× 膨張×
バンド金具	点検時判断	ネジ山が潰れていないか・曲がっていないか・割れていないか(コッター)	ネジ潰れ× 曲がり× 崩れ× 割れ×
バンド	点検時判断	亀裂が入っていないか・曲がりが無いか・開いていないか・変形していないか	亀裂× 曲がり× 変形× 開き×
ニップル	点検時判断	破損していないかの確認・先端が潰れていないか	先端潰れ× 破損×
カップリング	点検時判断	摩耗していないか・腐食していないか・変形していないか	摩耗× 腐食× 変形×
金網	点検時判断	破断していないか・テンションは問題ないか・変色していないか・腐食していないか	破断× テンション低× 腐食×
振動体ベース	点検時判断	歪がないか・亀裂はないか・摩耗していないか・腐食していないか	歪み× 亀裂× 腐食× 摩耗×
上枠	点検時判断	亀裂がないか・つばの曲がりに破損部がないか・変形していないか	亀裂× 曲がり× 変形×
下枠	点検時判断	亀裂がないか・つばの曲がりに破損部がないか・ボルト締付け部(穴・リブ)に亀裂がないか・変形していないか	亀裂× 曲がり× 変形×
クッションラバー	点検時判断	亀裂がないか・変色していないか・凹みがないか・硬くなっていないか	亀裂× 変色× 凹み× 硬化×
ストッパーpin	点検時判断	ネジ山が潰れていないか・曲がっていないか・摩耗していないか	ネジ潰れ× 曲がり× 摩耗×
スラストワッシャ	振動体交換時判断	摩耗していないか・亀裂がないか・変形しないか	摩耗× 亀裂× 変形×
ブッシュ	振動体交換時判断	摩耗していないか・ズレていないか	摩耗× ズレ×

*1:使用状況・使用環境・原料により、状態が変化しやすい部品となりますので、交換推奨期間では判断できない部品となります。点検項目に基づき点検を実行し、判断基準にて確認をしてください。